お盆を迎えられる皆様へ ～お盆の祀り方・過ごし方～

お盆は、はるか昔のご先祖さまはもちろんのこと、早くにお別れすることになった大切な奥様や旦那様、愛しいお子様、そして様々な事情で極楽浄土へ旅立たれた故人さまが、あちらでの修行を少しお休みして、皆様の元へゆっくりと帰ってこられる大切な時間です。

姿は見えなくとも、きっと皆様のそばで微笑んでおられます。どうか温かいお気持ちで、お迎えしてあげてください。

1、お盆の飾り方とお供え

- **お迎えの火（迎え火）とお見送りの火（送り火）**
  - **迎え火**：8 月 7 日
    早朝（お参りが 7 日より早いお宅は、お参りの日の朝）に、玄関先で藁や線香、蝋燭などに火を灯し、お仏壇やご遺影の前に「おかえりなさい」という温かいお気持ちでお供えしてください。
  - **送り火**：8 月 16 日
    お盆の終わりには、夕方から夜にかけて火を灯し、「いってらっしゃい、また帰ってきてね」という感謝の気持ちと共に、極楽浄土へ戻られる故人さまを温かくお見送りしてあげてください。

- **精霊馬（しょうりょううま）**
  - **キュウリの馬**
    極楽浄土から、少しでも早く皆様の元へ帰ってこられるようにという願いを込めて飾ります。
  - **ナスの牛**
    極楽浄土へお帰りになる際は、ゆっくりと名残を惜しみながら安全に帰ってほしいという願いを込めて飾ります。

- **お供え物(1 日だけでも毎日でも）**
  - 特別なものばかりを用意する必要はありません。ご家族がその日に召し上がるお食事を、「一緒に食べようね」という思いを込めてお供えしていただいて構いません。同じものを一緒に頂くことが、何よりのご供養になります。
  - 故人さまが好きだった食べ物やお飲み物も、ぜひお供えしてあげてください。
  - 昔ながらのおそうめん（細く長くご縁が続くように）や、ぼた餅、季節の果物なども、感謝の気持ちと共にお供えします。

- **お迎えの灯り**
    - お盆用の提灯や蝋燭の優しい灯りは、故人さまが迷わずお家へ帰ってくるための目印になります。お仏壇周りを綺麗に整え、いつでもお顔を見てお話しできるようにしてあげてください。

- **他にもこんな伝統的なお飾りがあります**

    - **ほおずき（鬼灯）**
      ふっくらとした赤い形が提灯に似ていることから、故人さまが迷わず帰ってこられるように道を照らす「自然の提灯」として飾ります。
    - **まこも（真菰）の敷物**
      お供え物や精霊馬を置くための敷物です。清らかな場所を作るために敷かれます。
    - **水の子（みずのこ）とミソハギ**
      ナスやキュウリを細かく刻み、洗ったお米と混ぜて蓮の葉などに乗せたものです。すべてのご縁ある仏様たちの喉の渇きを癒すための思いやりに満ちたお供え物で、添えられた「ミソハギ」の花に水を含ませて振りかけます。
    - **手作りの折り紙や工作**
      キュウリやナスだけでなく、折り紙で折った動物やキャラクターをお供えするのも素晴らしいご供養です。ご自宅でも、息子さんたちと一緒にワイワイ手作りしたものを祭壇に飾ってあげると、きっと喜んで遊んでくれますよ。
    - **小さなお茶碗と好きだったおやつ**
      お子様用の小さくて可愛いお茶碗にご飯を盛ってあげたり、生前好きだったジュース、ゼリー、おもちゃなどを並べると、祭壇がパッと明るく優しい雰囲気になります。

2、長光寺 お盆の行事とスケジュール

お寺の行事は、檀信徒の方に限らずどなた様でもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越しください。

- **棚経（お盆のお参り）**
    - ご希望されるお宅へは、7 月頃から順次お参りにお伺いしております。

- **8 月 15 日：盆施餓鬼（本堂でのご法要）**
    - 午前 9 時から 9 時半の間にお越しください。
    - 塔婆（とうば）をご希望の方は、事前にご連絡をお願いいたします。塔婆は立てず、回向（ご供養）のみのご参加も気楽にしていただけます。

- 当日、受付を済ませてお名前を呼ばれましたら、お焼香をお願いいたします。塔婆をお申し込みの方は水向けをしていただき、後ほど回向済みの塔婆をお渡ししします。お渡しした塔婆はお墓、もしくはお仏壇へお納めください。

- **8 月 24 日：大地蔵会**
  - 午後 6 時から 8 時半に行われる、お盆最後の回向です。
  - 御札回向、福引き、地獄絵の開帳、のぼりの寄進などがあります。さらに、無料の子どもおみくじや地獄のお話、境内のライトアップなども行われます。夏の夜のひととき、どうぞお気軽にお参りください。
  - 御札回向のお札は前年のものと交換になりますので、古い御札をお持ちください。いただいた新しい御札は、ご自宅の仏壇等へ大切にお納めください。